

広報

# おやす

2019

# 10

No.177

一瞬に懸けるその思いを、今  
～えひめYOSAKOI祭り2019～



# NEXT きらめき★

後藤 夏凜 さん (大洲南中学校 3年)

第57回四国中学校総合体育大会陸上競技

女子200m 1位・女子3年100m 2位

第46回全日本中学校陸上競技選手権大会 女子200m 出場



大洲南中学校3年の後藤夏凜さんは、8月3日から鳴門市で行われた四国中学校総合体育大会において、200m 1位、100m 2位の成績を収めました。また、中学校通信陸上大会で女子200mの標準記録を突破したことにより、8月21日から大阪市で行われた全日本中学校陸上競技選手権大会にも出場しました。

全日本中学校陸上大会の感想を尋ねると「今までの大会に比べて周りのレベルが一段と高く、大きな差を感じました。大会の雰囲気にも飲み込まれてしまい、緊張して記録も伸びませんでした」と振り返りました。

後藤さんは、小学5年生から八幡浜のクラブで陸上を始めました。「私には双子の姉がいて、ずっと一緒に陸上をしています。身近にライバルがいたからこそ、ここまで陸上を続けられたと思います」と話しました。

今後の目標を聞くと、「全国大会で見つけた欠点を改善し、10月の大会では、自己記録を出して、笑顔で終わりたいです」と力強く話しました。

## 10月の納税など 納期限は10月31日(木)です。

税 別	10月	11月	12月	1月
市 県 民 税	3期			4期
固 定 資 産 税			3期	
軽 自 動 車 税				
国 民 健 康 保 険 税	4期	5期	6期	7期

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。今年度から市県民税と固定資産税が4期納付になります。

## 現在の大洲

	人の動き(先月比)	交通事故(昨年同期)
人 口	42,860人 (- 12)	件 数 43件( 57件)
男	20,472人 (- 5)	死 者 0人( 0人)
女	22,388人 (- 7)	負 傷 者 48人( 78人)
世帯数	19,879世帯(+ 11)	

(2019年8月末現在)

## CONTENTS 目次

- 2 ページ～ NEXTきらめき・今月の表紙
- 3 ページ (特集)異文化に触れ、自分を磨く
- 8 ページ～ シリーズ
- 12ページ～ おおずニュース
- 15ページ～ おしらせピックアップ
- 22ページ～ 情報ひろば
- 24ページ 集まれO級若モン
- 25ページ～ 図書館・保健センター・各種相談ガイド
- 28ページ がんばるひと  
(肱北公民館 川柳教室)

## 今月の表紙



8月18日(日)、2年ぶりの開催となった「えひめYOSAKOI祭り2019」を取材しました。県内外から35チームが参加し、約1,100人の踊り子が市内6会場で、華麗な踊りを披露していました。詳細は、12ページに掲載しています。

# (特集) 異文化に触れ、自分を磨く

～大洲市中学生海外派遣事業～



写真上段左から 日野さん 村上さん 山中さん 西隅さん  
 中段左から 菊池先生 上野さん 樽井さん 藤尾さん 鳴滝さん 萩原さん 櫻本さん 畦田先生  
 下段左から 川崎さん 黒田さん 小泉さん 清水さん 和氣さん

## 令和元年度 大洲市中学生海外派遣日程

8月3日(土)	出発式、松山空港から関西国際空港を 経由しケアンズへ出発
8月4日(日)	ケアンズ着、ケアンズ市内観光、 各ホームステイ先へ
8月5日(月) ↓ 8月9日(金)	▽英語学習 (午前×5日間) ▽交流授業 ▽文化交流 ▽生徒間交流 ▽ホストファミリーとの交流 ▽さよならパーティ
8月10日(土)	ホストファミリーとお別れ、 ケアンズウオークラリー
8月11日(日)	ケアンズから関西国際空港へ、 到着後、空港内のホテルに宿泊
8月12日(月)	大洲までバスにて移動、帰国報告会

大洲市では、(公財) 柘山教育振興会の協力を  
 得て、大洲市中学生海外派遣事業を毎年実施して  
 います。この事業は、異国の文化、歴史、経済、  
 生活習慣および国民性の違いを肌で感受し、国際  
 化時代にふさわしい人材を育成することを目的  
 としています。

今年度は、10校15人の中学生が、8月3日(土)  
 から12日(月)までの日程で、オーストラリアのケアン  
 ズに滞在しました。生徒は、現地の小学校に通っ  
 て英語の授業を受けたり、ホストファミリーの家  
 庭でホームステイをしたりするなど、さまざまな  
 交流を行いました。また、ケアンズウオークラリ  
 ーでは、生徒が班別に分かれてケアンズ市内を探  
 険し、ケアンズに関する問題に挑みました。

今月号では、派遣事業に参加したみなさんの感  
 想を紹介します。



今回の海外派遣では、英語でのコミュニケーションやオーストラリアの文化などを実際に体験することができました。

印象に残っていることは、現地の小学校に通ったことです。バディとの交流や先生の授業は、とても楽しかったです。生徒は多種多様で、たくさんの文化を肌で感じることができました。先生には「Good girl」とほめてもらい、英語の楽しさを教わりました。バディと過ごす中で、「日本に行ってみよう」と言ってくれたことがとてもうれしかったです。

最初は不安と緊張で上手に英語を話すことができませんでしたが、現地のみなさんと交流を深めるにつれて英語が楽しくなり、コミュニケーションがスムーズにとれました。このような素晴らしい経験をさせていただいたことに感謝し、これからの将来に生かすことができるように頑張りたいです。



大洲南中学校  
清水 穂乃 さん



大洲南中学校  
黒田 萌衣 さん

私は、初の海外と、ホームステイ先での生活がとても不安でした。しかし、オーストラリアに着くと、不安な気持ちは吹き飛びました。ホームステイ先の家族とも、最初は会話がかたくなで、自分の気持ちを伝えることができませんでしたが、知っている英単語を使って会話するようにしました。また、現地の学校の先生が話していた「Don't be shy」という言葉のおかげでホームステイ先の家族や、現地の学校のバディとの会話が楽しくなりました。現地では、オーストラリアの文化にも触れることができ、すごく良い体験ができました。オーストラリアの文化をこれからも大切にしたいです。

私は、この経験を将来に生かすことができるように頑張ります。また、このような貴重な体験をさせてくれた家族に感謝の気持ちをもって、過ごしていきたいです。

私は、この海外派遣事業を通して、さまざまな経験をすることができました。

現地の学校では、オーストラリアの文化や歴史を学び、生徒と触れ合いました。生徒とコミュニケーションをとることで自分自身の英語力を磨くことができました。また、どのようにしたら相手に伝わるかなどを考えながらコミュニケーションをとることができました。

ホームステイでは、温かく迎えていただき、楽しい毎日を送ることができました。いろいろな場所に連れて行ってもらい、現地の人とたくさん交流したり、オーストラリアならではの体験をしたりすることができました。

海外派遣事業で学んだこと、経験したことを将来に生かしていきたいです。そして、英語力、コミュニケーション力をもっと磨き、人との関わりを大切にしていきたいです。



大洲南中学校  
川崎 愛海 さん



大洲北中学校  
上野 留果 さん

私は今回の海外派遣事業で、たくさんの「初めて」を体験することができました。英語しか通じないという不慣れな状況の中で、多くの人と交流し、大きく成長できたと思っています。

現地の学校では、日本の学校との違いを目で見て、体で感じてきました。宿泊したホームステイ先では、ホストファミリーと一緒に映画を観たり、買い物に行ったりして、とても充実した時間を過ごすことができました。英語を理解できなかったり、自分の伝えたいことが伝わらなかったりと、うまくいかないことも多くありましたが、その中で伝えようとしていくうちに、少しは英語力もコミュニケーション力も高まったと感じています。

この貴重な経験が、将来につながるように努力します。このようなチャンスを与えてくださったみなさんには、本当に感謝しています。

私にとってオーストラリアで過ごした日々は、見るもの、聞くものすべてが新しく、刺激的な毎日でした。

最初は、不安や緊張から上手に会話をするのができませんでしたが、ホームステイ先のファミリーやスクールのバディは、私のつたない英語を一生懸命理解しようとしてくれました。スクールでグレンダ先生が話した「Don't be shy」という言葉を念頭に置き積極的に話しかけ、楽しく過ごすことができました。

この研修を通して、異国の文化を直接肌で感じるとともに、日本の良さを再認識することができました。グローバル化が進む中で、より多くの外国人と交流し、自分の視野を広げていきたいです。この経験を自分の将来につなげられるよう、これからも外国語学習に一生懸命取り組んでいきます。貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。



大洲北中学校  
樽井 祐奈 さん



大洲北中学校  
げんたろう  
山中元太郎 さん

僕は、オーストラリアに行くことが決まり、うれしかった反面、不安もありました。しかし、今ではまた行きたいと思うくらい、とても満足しています。

ホームステイでは、ホストマザーとたくさん話すことができました。分からない英語も多くありましたが、ジェスチャーや簡単な単語で教えていただきました。最後の日には、ホストマザーと3時間も話したのは、自分でもびっくりしました。

学校では、サッカーを通して、短い期間でたくさんの友達ができました。バディと校内でフィールドワークをしたのは、とても面白かったです。

オーストラリアの人たちは社交的で、町でも気軽に話しかけることができました。この経験は、僕の自信につながったと思います。将来は、英語を使う職業に就きたいと考えています。素晴らしい経験をありがとうございました。

日本を離れて、英語での生活は戸惑いもありましたが、想像以上に素晴らしく有意義な毎日でした。

現地の学校では、先住民アボリジニの歴史や伝統文化などを学び、フレンドリーで積極的なバディたちとサッカーをして遊んだことが印象に残っています。ホストファミリーもとても温かく、教会に連れて行ってくれたり、ショッピングをして一緒に夕飯を作ったり、ホストファミリー自慢のスポーツカーでドライブをしたことなど、すべてが大切な思い出です。また、大洲の良さも英語で伝えることもでき、うれしかったです。

最終日のウォークラリーでは、英語力を試す良い体験もできました。言葉は違っても、思いやりや優しさは同じだと感じました。今後は現地で学んだ「Brave」の気持ちを生かせる行動をとりたいです。本当にありがとうございました。



大洲北中学校  
ゆうと  
西隅 勇翔 さん



平野中学校  
りきや  
村上 力也 さん

今回の海外派遣事業を通して、自分の視野が広がりました。日本とは違う文化を、ホームステイや現地の学校などで学ぶことができました。学校での過ごし方も、日本とはまったく違い、驚きました。

異なる生活に慣れることは大変でしたが、とても良い体験となり、現地での生活や英語学習を通して、英語力を身につけることができました。初めて学校に行った日は、遠慮してしまい、積極的に英語で会話できませんでした。しかし、英語の先生に「Don't be shy」と何回も言われ、遠慮することなく、積極的に会話できるようになりました。

日本では味わえないような、貴重な体験ができたことで、とても自分のためになり、成長することができました。この事業に関わっていただいた多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからの生活に生かしていきたいです。

私は英語が好きで、自分の英語力を試したいと思い、海外派遣に応募しました。実際に現地の人と会話してみると、うまく聞き取れなかったり、言いたいことが伝わらなかったりということがほとんどで、自分の英語力の未熟さを感じました。一方で、さまざまな人との会話や現地の学校での活動を通して、英語を話すことの楽しさを感じることができました。

また、現地の方のフレンドリーさにも驚きました。学校の廊下で、すれ違っただけで手を振ってくれたり、日本語で「こんにちは」と言ってくれたりしました。ホストファミリーには家族のように接していただき、充実したホームステイを送ることができました。

多くの人の支えで、この10日間で英語を話すことの楽しさを感じ、英語が大好きになりました。もっと英語を勉強し、自分の将来に生かしていきたいです。



新谷中学校  
ちか  
萩原 千佳 さん



肱東中学校  
まゆ  
鳴滝 茉優 さん

私は英語が苦手です。しかし、今回海外派遣に参加したことで、英語を今まで以上に身近に感じることができました。

ケアンズに着いた時は、英語での会話がうまくできず、とても不安でした。しかし、ホストファミリーやスクールバディが、私の話を理解しようとしているのが分かり、話が伝わった時の喜びは格別でした。伝え合ううれしさを味わえた経験により、のびのびと活動ができました。同じ家にホームステイした中国の子たちとも仲良くなることができました。5日間という短い期間でしたが、多くの人に親切にいただき感謝の気持ちでいっぱいになりました。お別れの時は本当につらくて、号泣してしまいました。

私の海外派遣は、とても人に恵まれていたと思います。これから英語の勉強に励み、将来、ホームステイ先に行き、私の英語で感謝を伝えたいと思います。



オーストラリアに到着してからは、すべてが初めてのことで緊張しました。しかし、いつも優しく助けてくださるケアンズの人の温かさに触れ、勇気をいただきました。それで、失敗を恐れず一生懸命楽しんで活動できました。

特に、ホストファミリーと一緒に過ごす時間が、とても充実していました。ラグビーを観て3人ではしゃいだり、食事をしながらお話をしたりして、とても楽しかったです。英語がうまく話せなくても、しっかりコミュニケーションをとることができました。それができたことは、私にとって自信になりました。

言語も生活環境も文化も異なる人と現地で触れ合うことで、お互いの文化を理解することや、自分のことを伝えようとする大切さなどを感じました。この経験を糧に、これからさまざまなことに積極的にチャレンジしていきます。



大洲東中学校  
かほ  
小泉 夏帆 さん



長浜中学校  
てんか  
櫻本 天花 さん

私は、今回の海外派遣事業に参加して、さまざまな人との出会いから多くのことを学ぶことができました。

その一つは、コミュニケーションを自分からとることです。初めは英語を使ってうまく話せるかどうか心配で、消極的になっていました。しかし、学校やホストファミリーのみなさんが積極的に話しかけてくださり、安心して少しずつ自分から行動し、自分からコミュニケーションをとれるようになりました。

また、先住民のアボリジニの文化に触れたり、ホームステイを通してオーストラリアの習慣を体験したりすることで、オーストラリア特有の文化について学ぶことができました。

今回の研修を通して、私の一番の成長は積極性です。これからも、「まずはやってみる」という気持ちを忘れずに、いろいろなことに挑戦したいと思います。

8月3日から海外派遣でオーストラリアに行きました。日本語が通じない場所に行くのは、最初はとても不安でした。

私が最も印象に残っているのは、ホームステイです。初めて会った家族と話すのは緊張しました。最初は話しかけたり会話に入ったりすることができず、戸惑うことも多くありました。しかし、ホストファミリーのみなさんが優しく話しかけてくれて、少しずつ慣れることができました。生活の中では、日本語ならすぐに言えるようなことも、英語となるととても難しく感じました。どんなときでも自分が伝えたいことを伝えようと努力し、コミュニケーションをとることは大切だと実感しました。

海外派遣を通して、もっと英語を頑張ろうと何度も感じました。この経験を生かして英語力の向上を目指していきたいと思います。



脇川中学校  
ほのか  
和氣帆乃加 さん



河辺中学校  
こうせい  
日野 洸誠 さん

オーストラリアでは、本当に英語のみの生活でした。ホストファミリーやスクールバディが、分かりやすく簡単な表現で話してくれたり、ゆっくり話してくれたりしたおかげで、聞き取ることはできました。大変だったのは、自分の言いたいことを伝えることでした。話すたびに何度も聞き返され、正直心が折れそうになりました。しかし、相手も私の言葉を理解しようとする様子が伝わったので、諦めずに頑張りました。

今回、英語でのコミュニケーションやオーストラリアの文化について学ぶ良い経験になりました。一緒に習字を楽しみ、文化の交流もできました。この経験を通して、自分の言葉で感情を乗せて話すことが大切だと思いました。今回学んだ英語でのコミュニケーションや積極的に挑戦する心を生かし、活動の幅を広げ、人として大きく成長したいと思います。

私のバディだったユリナは、私が英語を聞き取れなかったら、紙に書いたり、分かりやすい英文に言い換えたりしてくれました。一緒にランチを食べたり遊んだりしながら、たくさん話ができました。また、3日目がちょうどユリナの誕生日で、手作りのカップケーキをくれました。他にもたくさんの小学生が話しかけてくれて、3日目には、かなり会話が续くようになったので良かったです。

ホストマザーは学校までの送迎と、おいしい食事を作ってくれました。最初はカルチャーショックでつらかったけれど、慣れるにつれて一緒にいる時間が増えました。毎日犬の散歩や、共通の趣味の話ができて楽しかったです。

この事業に参加して、たくさん刺激を受け、もっと英語が好きになりました。さらに英語を勉強して、将来は大洲市に貢献できる人になりたいと思います。



済美平成中等教育学校  
みなみ  
藤尾 美波 さん



団長 平野中学校  
としのこ  
校長 菊池 敏彦

8月3日から12日までの10日間、オーストラリアのケアンズで海外派遣研修が行われ、大洲市在住の中学生15人が参加しました。連日猛暑の大洲から出発しましたが、ケアンズ到着時は、冬の乾季では珍しく雨模様で寒いくらいでした。夜明け前からの市内観光の後に、初日からホストファミリーに迎えられるなど、慌ただしくスタートしました。

例年と異なり、次の日から早速ウオーリーステイトスクールで5日間の学習が始まりました。半数近くの児童がアボリジニをルーツとしていて、さまざまな国や民族の文化が融合している学校ならではの学習環境に、私自身も日本人として、それを体験できることに喜びを感じました。日本語の授業も週に1回あり、校内を歩く

至る所から日本語のあいさつをしてくれ、親しみを感じました。

毎日2時間の英語の授業の後、児童の授業に参加して交流を深め、英語でのコミュニケーション能力を高めていくことができました。ちょうど、アボリジニやトレス海峡諸島民の歴史や文化・功績をたたえる国家的イベントのナイドックの週間で、関連した授業で作品を作ったり、校内でコンサートが開かれたりするなど、貴重な体験もしました。

最初は「もっと積極的に」とか、「Brave」の歌のように失敗を恐れず勇敢に、と指導を受けていましたが、日が経つにつれ積極的にコミュニケーションをとることができるようになり、目覚ましい成長を感じました。

この研修を通して学んだことは、派遣生にとって素晴らしい財産になったと思います。今後の活躍と、大洲の将来にいろいろな形で貢献してくれることを期待しています。

オーストラリアには個人的に縁があって、大学時代に約1カ月間、ブリスベンでホームステイをしながらクイーンズランド大学へ通いました。教員になってからは、REXプログラムで1年半ほどゴールドコーストの地元の公立校3校で働いた経験があります。

ケアンズ市ですが、多文化社会らしく、町へ繰り出すと日本を含め、さまざまな国の伝統的な料理を食べることができます。また、街中の看板に目を向けると、シアター センター theatreやcentreなど英国文化がしっかり根付いていると感じさせるつづりをよく見かけました。

生徒たちは、地元の小学校で午前中にオールイングリッシュで英語を学び、午後からは小学生との交流授業に参加しました。バディもさることながら、私たちの世話役を担当していただいた先生が非常に熱心で、緻密にカリキュラムを作っていたのおかげで、充実した5日間を過ごすことができました。

グレンダ女史のすべて英語で行われる授業には、生

徒たちは当初戸惑っていましたが、3日目ぐらいから度胸がついてきたのか、さまざまな場面で英語を使ってコミュニケーションを図る姿が見え、成長の跡が伺えました。「沈黙は金なり」はグローバル社会では通用しません。英語は「度胸」、間違いを恐れず、とにかく発信することが大切です。「英語をマスターしたいなら、常に勇敢であれ」というグレンダ女史の言葉が今でも忘れられません。

生徒たちはこの派遣事業で、言語習得の難しさや楽しさ、日本と豪国の文化の違いなど、さまざまなことを感じているはずで、肌で感じた経験を糧として、将来、グローバル社会で活躍できる資質を身に付けていってほしいと思います。



引率 肱川中学校  
ゆうじ  
教頭 畦田 祐二

言語や生活習慣が日本と異なるホストファミリーとの触れ合いは、戸惑いと不安の連続だったことでしょう。しかし、分からないことに直面した時、自分なりに解決策を模索しようとする姿勢が、何物にも代え難い経験になります。

8日間の海外生活を終え、大洲へ帰ってきたみなさんは、とてもたくましく見えました。今回の体験を通して、派遣生のみなさんが世界に羽ばたく人材となることを願っています。

